同窓会 会報

第32号　2026. 9. 1

〒709-0422 岡山県和気郡和気町尺所15
TEL 0869-93-1188　FAX 0869-93-1010
岡山県立和気閑谷高等学校同窓会事務局

『未来を創る』

同窓会長　内山　　登



同窓会の皆様には、日頃より同窓会活動に温かいご理解と、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

和気閑谷高校は、長年にわたり地域を支える多くの人材を育て、地域とともに歩んできた私たちの誇りある母校です。しかし、少子化の進行により、県立高校を取り巻く環境は大きく変化し、再編統合の議論が進められています。

私は同窓会長として、「和気閑谷高校の350年の歴史を守り、未来へつないでいく」ことを大きな使命と考えています。地域に根差した学びの場を守り、後輩がこの地で夢と希望を育めるよう、全力で取り組んでまいります。

4月より、藤岡校長を再び迎え、新たな展開を期そうと、学校当局も努力中です。

そのためには、同窓生の皆様をはじめ、地域の皆様のお力添えが何よりも大切です。

母校への思いを一つにし、和気閑谷高校の魅力を発信し、支える輪をさらに広げていただきますよう、お願い申し上げます。

『伝統は改革と挑戦の連続の上に成る』

令和８年度同窓会総会のご案内

毎年恒例の同窓会総会を右記の要領で開催します。

会員はどなたでも参加できます。卒業年を超えて参加して思い出や現在・未来を一緒に語りましょう。参加を希望される方は同封のハガキでお申し込みください。

申し込みが会場の収容人数を超えた場合は申し訳ありませんが、先着順とさせていただきます。

＊今回は昭和59年３月卒業生（昭和40年４月～昭和41年３月生まれ）が当番幹事団となります。代表幹事から依頼のあった方々はご協力をお願いします。

日時：令和８年10月18日（日）
11：00～12：00　総会（10：30～受付）
総会終了後写真撮影～懇親会
2時間半程度

会場：ピュアリティ　まきび
（岡山市北区下石井２－６－41）
TEL 086－232－0511

会費：5,000円（当日集金します）

（問合せ先）岡山県立和気閑谷高等学校
同窓会事務局　担当：和氣　誼
TEL(0869)93－1188

校長あいさつ

校長　藤岡　隆幸



岡山県立和気閑谷高等学校同窓会の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動の充実と発展に格別の御理解と温かい御支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私事で恐縮ではございますが、令和２年度から令和４年度までの３年間、本校の校長を務めさせていただき、このたび、令和８年度より再び校長として着任いたしました。同窓会の皆様と再び手を携え、本校の未来を拓く重責を担えますことを大変光栄に存じますとともに、改めて身の引き締まる思いでございます。

さて、現在、我が国の高校教育を取り巻く環境は、かつてない大きな転換期を迎えています。文部科学省が進める高校教育改革（「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」など）をはじめ、私立高校授業料の実質無償化に伴う生徒の志望動向の変化、また、不登校生徒の増加を背景とした通信制高校への進学ニーズの拡大など、教育に対する要望は多様化しております。さらに、急速な少子化の進行に伴い、学校教育の質の維持や適正な配置をいかに進めていくかも、将来的な大きな課題となっています。

岡山県におきましても、こうした変化に対応するため、昨年度に「岡山県高等学校教育研究協議会（高教研）」が設置されました。今後の高校教育の体制整備に向けた議論が進められているほか、高校入試制度の見直しについても検討が始まっています。

このような激動の時代にあっても、本校には、「小規模校だからこそできる」生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな指導という大きな強みがあります。「閑谷」精神を継承し、地域をフィールドとして学ぶ「地域との協働」による教育活動を展開してまいりました。こうした取組を通して、生徒たちは地域の現状や課題を肌で知り、体験を確かな学びへとつなげながら、人間的にも大きく成長しています。今年度は、本校ならではの特色ある教育内容とその強みをさらに磨き上げ、学校の内外に向けて、より一層積極的な情報発信と広報活動に努めてまいります。

また、魅力ある学校づくりと並行して、多様な生徒の受入体制の充実も進めております。大切な基盤である地元からの入学者を増やす取組を進めるとともに、３年前から普通科の全県学区化により、県内全域から制限なく生徒を受け入れられるようになりました。併せて、全国募集の枠も定員の２割まで拡大いたしました。昨年度には全国から集い学ぶ「和気町地域学習交流センター」が開所し、本校では、地元・県内・全国から集まる多様な背景を持つ生徒たちが、互いに刺激し合い、共同生活や学びを通して切磋琢磨しています。このような多様な生徒が集うことにより、学校全体に新たな活力が生まれ、より豊かな学びへとつながるものと確信しております。

これからも、地域における学校の役割をさらに高めるとともに、地域からより一層信頼される学校を目指し、生徒一人一人が生き生きと輝く学校づくりに全力で取り組んでまいります。

同窓会の皆様には、本校の教育活動にさらなるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

学校の近況報告

生徒が生き生きと活動し、地域から信頼される学校を目指して!

教頭　服部　功

令和８年度の学校経営目標の一つに「生徒が生き生きと活動し地域から信頼される学校を創る」を掲げて本年度がスタートしました。これは、生徒会が昨年度から始めた「毎日行う挨拶運動」や「制服の着こなしや校則改定」などの活動を通して「地域から信頼される学校になる」ことを目指していることにも通じます。また教職員からは、生徒自身の生き生きとした活動を保証し応援したい、地域からの信頼を得ることが学校をより活性化することになるなど、生徒と教職員の意識が一致したことにより新たに掲げたものです。

もとより、本校は令和元年、県下で初めてのコミュニティ・スクールを設置した高校として、地域連携を教育の柱の一つとして取り組んできました。ここでは、地域と共に歩む生徒の生き生きとした活動をお届けします。

○硬式野球部の活躍

昨年の秋季大会では東部地区大会において代表決定戦までもつれる接戦を勝ち抜き、実に31年ぶりとなる県大会進出を決めました。１・２年生は10名という少数精鋭ではありましたが、『感謝』『純粋』『謙虚』のスローガンの下でチーム一丸となって歴史の扉を動かすことができました。

また、今年の春季大会では東部地区予選で吉備国際大附を18対４の大差で退け、こちらも21年ぶりの県大会出場を果たし、秋季県大会進出の実力を示すことができました。

今年は１年生が11名入部し、１年生大会には単独チームで参加します。今後とも野球部の活躍から目が離せません。ご声援をよろしくお願いいたします。





○生徒会の取り組み

「地域から信頼される学校にしたい」これは、和気駅や電車等でのマナーについて外部からお叱りをいただいた際に、生徒から出た言葉です。

そこで生徒会では、閑谷学や地域協働探究の授業等で平素からお世話になっている地元の方々に、もっと和気高の良さを知ってもらいたいとの思いから、昨年５月に、和気駅から学校までの通学路であいさつ運動を開始しました。すでに１年が経ちましたが、爽やかな挨拶と制服の着こなしなどのエチケットを呼び掛けており、生徒会役員に加え、有志生徒も自主的に参加し、定期考査期間等を除き毎日行っています。見かけられたら是非お声掛けください。

また、地域に認めてもらえる校則を作り生徒みんなで守っていくことを目標に、校則改定に取組み、本年度から男子ツーブロックと女子ハーフアップが認められました。実現にあたり、他校訪問をして先進事例を学び、実態把握のための現地調査や聞き取り、生徒アンケートに加え、企業へのアンケートなどを行い、自分たちの手で校則を改定しました。今、生徒会を中心に「地域から信頼される学校」を合言葉に学校活性化が進んでいます。どうぞこちらにもご注目ください。





○産学官連携による商品開発

総合的な探究の時間「閑谷学」の授業で、地元企業×IPU環太平洋大学×和気町鶴海谷温泉がコラボレーションした入浴剤を商品開発しました。商品名は「ふじのかおりのバスソルト」。お湯に入れると和気町産藤園をイメージした紫色が広がります。能登の塩を配合しており、パッケージには輪島キリコをあしらい、能登半島地震・豪雨の復興支援として売上の一部は輪島高校の支援に充てられます。

価格は１回分30g入りで200円。地域のイベントで販売するほか、和気町鶴海谷温泉および和気町内地元郵便局の他、近隣の施設・店舗等で販売しています。

また、中国銀行全店舗でのノベルティに採用され、６／30（火）には中国銀行本店で贈呈式が行われました。みなさんも「ふじのかおりのバスソルト」にどこかで遭遇するかもしれませんね。（「和気　バスソルト」で検索してみてください）





本校ホームページでは、随時、いきいきとした生徒の活躍の様子をブログ（http://www.wakeshizu.okayama-c.ed.jp/wordpress/）で紹介していますので、ぜひ一度ご覧ください。

○令和７年度卒業証書授与式・同窓会入会式

３／１（日）令和７年度岡山県立和気閑谷高等学校卒業証書授与式が行われ、厳かで晴れやかな雰囲気の中、家族や後輩、先生方に送られて98名が巣立っていきました。

これに先立つ２／27（金）には同窓会入会式が行われ、内山会長からの「歓迎メッセージの伝達」に続き、兼原理事による同窓会公式LINEグループへの登録案内があり、卒業生はその場でLINE登録を行いました。時代は情報化の一途を感じさせられる場面でした。最後に、代表生徒が入会の決意を述べ、普通科62名、キャリア探求科36名、計98名が新たに同窓会員の仲間入りを果たしました。





○生徒の全国募集

令和７年度の全国募集から定員が見直され、普通科16名、キャリア探求科８名、計24名となりました。今年度の新入生は男子８名、女子５名が入学し、学校全体では過去最高の34名が全国募集生として在籍しています。

昨年４月に開設された和気町地域学習交流センター（町営寮）には、今年度、男子12名、女子６名の合計18名が生活しています。親元を離れ、遠く和気の地で青春の３年間を過ごす生徒達に、あたたかい応援をお願いいたします。東京と大阪で行われた地域みらい留学の対面説明会では、保生やその保護者、卒業生、和気町職員にもお手伝いいただき、本校の魅力を発信することができました。

また、引き続き、全国から和気閑谷高校を目指す生徒の身元引受人や下宿先を募集しています。「生徒の身元引受人になってもよい」「下宿を提供してもよい」と思われる方は、学校までお問い合わせください。

（問い合わせ先）
和気閑谷高校　教頭　TEL（0869）93－1188





和気閑谷News

令和８年度
学校生活
特集

和気閑谷高校の今をお伝えするニュースレター

01 夢中になれる部活動が和気高にはあります！












02 おなかも心も満たしてくれる購買＆食堂




1限後の休み時間は購買に集合！
焼きたてパンがいっぱい！
★ 人気パンBEST3 ★
① こっぺたつた②ベーコンエピ③メロンパン、チョコクロ

メニューが豊富！食堂も大人気！
あったかごはんで午後も元気！




毎日違うから楽しみ！






岡山県立和気閑谷高等学校　〒709-0422 岡山県和気郡和気町尺所15　TEL:0869-93-1188 FAX:0869-93-1010

和気閑谷News

令和７年度
楷楓祭
特集

和気閑谷高校の今をお伝えするニュースレター

01 楷楓祭（文化の部 9/26,27）

１年次のステージ発表、２年次の教室展示、３年次の模擬店
その他、各種委員会の展示などがあり非常に盛り上がりました！！



02 楷楓祭（体育の部 9/29）

全員が走って、笑って、
力を出し切りました！



岡山県立和気閑谷高等学校　〒709-0422 岡山県和気郡和気町尺所15　TEL:0869-93-1188 FAX:0869-93-1010

和気閑谷News

令和８年度
春
学校生活
特集

和気閑谷高校の今をお伝えするニュースレター

01 高校生活がスタートしました（入学式・LHRなど）







02 先輩たちも全力で授業に取り組み、日々成長中！






03 白熱！！ブロックカラー決定＆新入生歓迎球技大会



団長たちの熱演により？
ブロックカラー決定 ✨






岡山県立和気閑谷高等学校　〒709-0422 岡山県和気郡和気町尺所15　TEL:0869-93-1188 FAX:0869-93-1010

旧職員・卒業生からのたより

※（　）は旧姓です

同窓会会報を拝読し、当時が懐かしく思います。当時、私は30歳前半で商業科があり簿記検定の合格者を一人でも多く合格させようと、放課後補習をしたり、授業を工夫したりしました。卒業生の活躍を期待しています。　旧職員　有利　信一

今回も会費を納めることが出来ました。今、生きている証です。感謝の心で一杯です。母校の発展と同窓生皆様のご健勝をお祈り致します。

S26卒　平井　昭信

在学中は、文学部・演劇部でご指導いただきました。ＴＶアシスタントを経て、現在「古典・現代文」の朗読講師をしています。声を出すことは健康と美容に大いにプラスになります。

S33卒　川村　芙美（河野）

薬効のおかげで生かされて、83歳を迎えた事に感謝しています。毎月第一月曜日に和気の岡山珈琲館に８～10人が集まり「閑谷会35年卒ミニ茶話会」を開催し既に３年経過。普通の生活をしています。

S35卒　坪井　迪郎

10数年前、本荘小学校へ勤務していた時以来、久しぶりに学校を訪れました。懐かしく、声をかけた生徒も感じが良く胸がジーンときました。

S45卒　木待　賢逸

毎年、春・秋の２回、同期生ゴルフコンペを開催しています。
その日は、いつも高校生です。

S46卒　藤原　明文

第二回関東支部同窓会を昨年８月31日に開催することが出来ました。残念ながら岡山からの内山同窓会会長、赤松和気閑谷高校長、太田和気町長は台風による交通機関全面運休により欠席になりましたが、当日は多くの方のご参加を賜りました。次回の開催を心待ちにしているとの声を多々頂き、同窓会の一層の繁栄を願ってこれからも頑張って参ります。

S47卒　理事　関東支部長　岡本　幸人

古希を迎え、健康でいられる事に感謝し、ホームヘルパーの仕事をしています。地域の高齢者、障害者の方々の出会いを大切に楽しい日々を過ごしています。

S47卒　石井　芳美（神崎）

昨年、閑谷の青少年教育センターのボランティア活動に参加しました。旧閑谷学校の歴史と伝統を改めて学び、心も身体も清々しい一日となりました。

S52卒　直原　　平

平病院を訪れた際、久しぶりに和気閑谷高校のグラウンドや校門を見て懐かしく思いました。

S55卒　恩藤　洋美（松本）

会報誌で「未来へつなぐ」活動を拝見し、和気閑谷高校の益々の発展が楽しみになりました。
継続することの難しさもありますが、皆様のご活躍を祈念します。　S61卒　景山　泰吉

少子化の波に負けず、魅力ある学校として、今後も地域と共にある学校であることを期待しています。

S61卒　田代　雄一

令和７年度同窓会総会

令和７年度同窓会総会・懇親会が、現旧職員・卒業生計51名参加のもと開催されました。

今年度は昭和58年３月の卒業生19名の参加で当番幹事を務めていただきました。ご協力ありがとうございました。

懇親会では各テーブルから懐かしい話や近況報告をいただき、和気閑谷高校の未来に思いを馳せました。

最後に閑谷中学・和気高女・和気閑谷高校の校歌を歌い、母校の益々の発展を祈りました。

次回幹事である昭和59年３月卒業生へ引き継ぎ、またの再会を約束して閉会となりました。



令和７年10月26日（日） ピュアリティ まきび

★同窓会役員一覧

会　長（1）	副会長（3）	監　事（2）
内山　　登（S49）	延藤　安茂（S48） 横林　光司（S49） 藤永　夕子（H4）	和田　敬子（S43） 吉房　順治（S44）

理　事（10）		校内理事（6）	
高橋　隆一（S41）	藤原　秀彦（S42）	藤岡　隆幸（校長）	服部　　功（教頭）
古川　美保（S42）	國友　道一（S43）	川上　暁子（事務長）	藁宮　美紀（S63）
松嶋　孝則（S43）	守井　秀龍（S44）	（事務局）	
岡本　幸人（S47）	内田　　太（S47）	和氣　　徹（S55）	四十塚　輝実
森定　宏之（S52）	薮原　初彦（S57）		

会計担当（1）	中原　秀和（S49）

釈菜（せきさい）
10月24日(土)
10:00～

閑谷学校大成殿において、孔子の徳を称える儀式「釈菜」が行われます。
大成殿の儀に続き、講堂の儀もあります。参加費2,800円程度（仕食代含む）で一般公募をしています。財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会のＨＰ（イベント申し込み）からお願いします。

〒705－0036　岡山県備前市閑谷784
事務局（0869）67－9900　史跡受付（0869）67－1436

関東支部だより

第三回関東支部同窓会を昨年11月22日に岡山から内山同窓会長、赤松校長、太田町長をお迎えし、新橋駅近くの「とっとり・おかやま新橋館」で開催いたしました。

38名が出席され、過去最多の盛大な会でした。

校長、町長からは和気閑谷高校の現状や閑谷温泉近くに建てた寮の話を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

最後には政田朴之副支部長（S50年卒）のハーモニカ演奏と和気閑谷高校校歌を皆で合唱して解散となりました。

今年も第四回同窓会の開催が決まり、同窓会長、校長、町長の出席も予定していますので、卒業同年度や年度の近い方を誘い合って多数の方の参加をお待ちしております

○日時　令和８年９月26日（土）
11：00受付開始　11：30開会

○場所　とっとり・おかやま新橋館
２階　ビストロカフェ　ももてなし家
（東京都港区新橋一丁目11番７号
新橋センタープレイス）

○会費　8,000円

※関東以外の方も出席できる方がいらっしゃれば連絡をお待ちしております。

岡本　幸人
携帯：090－3140－6331
E-mail：sachi-o@cello.ocn.ne.jp
㈱岡本工業
〒314－0022　茨城県鹿嶋市長栖1879－386
TEL.0299－83－5513



第３回 岡山県立和気閑谷高等学校 関東支部同窓会　於：とっとり・おかやま新橋館　2025.11.22

関西支部だより

令和７年11月22日（土）TKPガーデンシティ大阪駅前にて、多数の出席をいただき盛会裏に開催しました。

当日は服部教頭先生、横林同窓会副会長から高校の現状や同窓会の活動についてお話をいただき、出席者自己紹介とともに食事をしながらの懇談懇親に話がはずみました。

今後ますます支部会活動を強化することを誓い閉会しました。

関西支部の活動は下記のＱＲコードからホームページをご覧ください。



年会費・任意寄付

ありがとうございました。

令和7年度分 納入者一覧

（7年4月～8年3月）

（単位：千円）

（旧職員）
岡 千代也 2
加治 信正 3
木村 純雄 21
香山 真一 6
神社 榮二 3
角南 治夫 1
内藤 靖幸 5
須原 照夫 2
福田 浩司 3
藤田 真理 6
前 宏治 5
森本 明美 5
和田 誠也 2

S20
岡田智恵子 10
金光 敏三 3

S22
坪井 俊子 2
戸川 由子 2

S23
今田 幸子 1
額田 統治 1
藤原 浩子 3

S25
宇垣 成子 4
内田 信好 2
岸本 和良 3
猪内 英策 1
橋本多美枝 1
森 榮 2

S26
井上 妙子 1
上村 昌司 3
浦上 至 3
岡本 清馬 2
金谷 初恵 3
黒沢 一美 1
清水 純 10
高取 正一 2
高野 容子 1
平井 昭引 3
山本 昇 6
横山 郁子 5
渡利 澄雄 16

S27
有正 修道 5
射矢 譯一 2
太田 寛子 2
国光 慎雅 6
岡光 史朗 3
島津 典子 1
津田 忠彦 10
中野 順夫 1
野崎容美子 1
松川 和明 1
三好 敏江 10

S28
岡 靖人 1
近藤 啓二 6
末原 次男 1
末廣富士子 1
須波 忠夫 6
武元 正好 5
丸山建太郎 6

S29
射矢 頌子 1
浦上 榮子 2
太田 光子 2
竹原 稔子 2
福山 幹子 3
四谷 進 3

S30
安東 保 1
植本 弘子 2
太田 生子 3
大迫 良子 1
小野瀬一郎 2
柏谷 鈴子 2
神崎 信義 2
小林 信子 2
塩見 昭子 1
玉谷 一幸 2
徳森佐智子 1
内藤 京子 1
内崎 嘉人 3
早瀬 郁 11
藤原 順子 3
森田 耕輔 1
矢野 清美 11
吉田 幸子 1

S31
池 芳昭 3
石原 貞女 1
岩田 潔 11
王貿 弘志 3
大森 大陽 6
岡本 榮子 2
金光 宣三 1
須田 昌 1
高橋 利夫 3
戸田 桂子 1
中村 晃 2
橋本 重昭 3
原 桂一 2
森山 幸子 1

S32
伊永 忠範 1.5
内山 康雄 2
大川 文恵 2
太田多美子 4
荻田 健治 3
角南 勝弘 3
須波 淳人 5
野山 雪子 2
万波 壮男 2
三宅 勲 2
三宅 美子 1
料治 孝子 2

S33
大田原啓介 4
大西 勝美 4
梶原 俊孝 5
北川 貞正 1
小宮山荘太郎 10
坂間 忠義 1
南石 正和 6
長谷川士郎 3
日笠 健生 11
安本 哲也 11

S34
宇高 敏幸 3
小田 稔江 3
近馬 俊治 1
萩原 誠行 1
藤木 悦子 1
森本 英明 1

S35
伊賀 正幸 3
池上貴久雄 1
入江 勝利 1
上林 憲治 3
江原算智子 2
江本 健夫 6
大森 博雅 3
大賀 光子 6
久崎 国征 5
坪井 辻郎 3
西本 照子 1
森川美智子 5

S36
有吉 時男 3
岡本 弘子 1
片山 昌子 1
岸本富佳子 2
木村 直 5
国塩紀久子 1
近藤 登一 3
坂本 誠志 1
柴原東洋彦 2
近松 弘輝 1
春名 瑞子 1
藤原 義夫 2
森下知代子 5
吉延 重信 4

S37
入矢 正行 1
太森 克彦 1
小倉 尚子 1
川口 貴正 1
神崎 進 1
岩崎 孝 2
佐藤 紀代 1
延原 睦子 31
深井 輝彦 1
呂殿 正次 11

S38
岡崎 恵子 1
金光 寛 3
寒竹 誠 10
鈴木八重子 3
藤井 洋一 2
安本 昭信 2

S39
安藤 節子 3
池上 榮子 1
岡崎 英三 21
片山田鶴子 3
小坂 晋三 10
宗森 直之 5
原田 敦 2
藤田 幸雄 11

S40
麻植 榮一 1
入矢 初子 1
太田佐和子 1
大賀 正子 1
小野 啓子 2
日下部須賀子 1
坂田 菊美 2
高畠 正男 1
目賀 紀子 1
最上 正志 3
山本 登子 1
和気 晴信 3

S41
伊賀 安文 3
伊藤 孝二 2
石井 史子 3
内山 一美 3
大坂 浩二 4
岡本 幸子 2
小野田正広 3
神本 宮子 6
河相 源良 4
国光 省三 3
児嶋 久子 3
斉藤 勉 3
高畑 隆一 11
田中 信子 2
中司 英雄 2
原須 浩正 1
新田 仁美 3
延原 春雄 3
畠中 俊明 5
藤原 孝三 5
藤原 弘子 1
藤原 義八 3
三原 千幸 3
山本 泰正 1

S42
長田 和代 6
高加 國夫 1
下井 信司 2
高尾 行健 2
永宗 貴二 3
藤原 秀彦 11

S43
石井 明子 3
今井 都 2
梅原 俊子 4
岡友 直一 3
伊久 孝志 3
斉藤 敬子 2

重政 雅司 3
杉山 隆一 1
瀬戸山久米 3
田次 秀起 1
時信 正宏 1
永島 英夫 2
花澤 秀文 3
馬場 清子 6
三宅 幸子 1
宇谷 徹 1
和田 敬子 1

S44
井上 純子 3
内田 潔 4
吉川 隆 100
栗原 明人 3
藤友 勝美 1
福田 修文 4
鈴木三重子 1
角南 守正 3
谷口 堅 2
中家 茂博 3
西中 章子 1
花沢 芳文 3
藤原みえ子 6
待場れい子 2
吉岡 順治 5
若林 章 3

S45
荒嶋茶寿夫 3
岩橋 知世 1
岡本知加子 2
小川秀三郎 2
北川久美子 3
木内 賢逸 1
国友 堅 3
小宮山尚理 2
柴田 弘之 2
原藤 忠 3

竹之内正行 2
楚元 泰弘 10
橋本 弘美 3
村上 輝行 5
山本 繁夫 5

S46
荒内 晃 2
角屋 純子 1
菅原 祥代 3
都島 典子 1
西山 民子 3
藤本 恵子 3
正清 保 3
水江 清二 2
武藤 幹夫 3
宗久 宏 10
山崎 稔 1

S47
石上 京子 11
内田 太 3
岡本 幸人 31
片山 玲子 1
川端 康之 2
高取 隆昌 1
竹一みどり 2
中田 行一 1
野山 嘉彦 3
原 朗 1
藤原 鴨人 3

S48
安東 誠 5
石井 宏昌 5
石垣百合子 1
今田 欣一 4
岡野 良樹 4
笹田 晃代 3
小坂 仁志 3
柴原 靖彦 5

栃永 祖生 3
中川雷一郎 3
沼本 典子 3
延藤 安弘 5
延藤 隆三 6
速水 健三 1
三谷泰るり子 5

S49
荒内 保裕 2
内山 聖 5
斎藤知恵美 3
小林 聡 1
宍戸 典子 2
新庄 雅弘 3
西中 純一 1
延原 登 11
馬場 雅美 2
林田 一成 1
福島 俊美 1
福原 一成 4
藤本 敏弘 3
松田 昌樹 1
横林 光司 10
吉岡 明美 5
米本 剛一 1

S50
赤田 佳生 3
神崎 雅光 1
神崎 恵策 3
斉藤 幸子 1
西野 保久 4
平井扶美子 1
政田 幹之 5

S51
石原 高志 3
岸本康一郎 1
坪井 恭紀 6
中村美江子 4

西山 繁夫 1
新田 正純 3
萬代 英二 1
万代 茂敬 1
山田 直樹 1

S52
熱田 龍二 3
伊藤 登 1
内山 伸之 3
太田 啓輔 2
小林 典章 10
角南 整司 6
高原 博明 1
竹内 基 2
西上 祐子 1
藤本 智成 4
藤原 茂洋 1
村中 由美 1
森定 宏之 6

S53
赤木 清源 4
岡 公江 3
小林 豊 2
小林満寿美 2
実盛 孝典 3
柴田 崇子 2
福田 洋人 2
溝手 英子 3
溝辺 直博 2
宮優美恵子 5
向井 重明 3

S54
赤畠 真一 2
秋山 節子 1
今井田毅宏 1
大森 哲男 1
奥田 朗子 1
北川 昌昭 1

木南 泰樹 1
瀧 信子 1
駄齊 美鈴 10
田部 正明 5
丸尾美代子 2
村岡 一典 2
吉岡 弘二 1

S55
岡田 公彦 1
香山浩一郎 2
仲田 晴美 1
松原 雅之 10

S56
大神 一吉 3
河原 幸一 2
末廣 弘毅 1
吉富 英幸 1

S57
赤堀 直志 1
岸本 美加 10
黒澤 朋子 1
高畑 義孝 2
恒次 都子 1
中川 正典 3
藤原 謙彦 3

S58
藤原 哲子 3
國重 朝美 1
恒次 一 1
中村 修作 11

S59
岡貞 真子 11
下山 尚史 3
鈴場 慶子 1
都筑 雅子 1
難波 浩明 1

S60
岩藤 美佐 2
鈴木 恵子 3
戸島 由正 3
平野 昌美 1

S61
福晴岩恒郎 3
景山 泰吉 3
國本 直宏 2
小島 恵 2
田代 雄一 2
矢用美佐子 4

S62
星 茂樹 5
萬谷 幸子 1

H1
青木 克行 2
恒次 晋司 1
八部 輝 2
三浦 祐二 7

H2
大森 稔記 3

H3
大川 好弘 10

H4
小林 弘典 1
田中 富子 1
森田 亮次 2

H5
犬飼 美和 2

H6
神本 昇 1
小林 敏江 2

H8
岸本 健次 1

H17
上浦智容子 1

H21
石原 悠太 1

H22
香山真一郎 1

H31
佐藤 美波 1
田代 陽子 1

R4
岩本 悠斗 1
並川 咲子 2

R7
神崎 雄輝 2

令和7年度合計
年会費 430名
43万3千円
任意寄付
104万5千5百円

部活動の報告

『和気で鍛えて』　～中国高校選手権大会を終えて～

小学校一年生の頃から通い続けた和気スイミングクラブでの日々は、私を大きく成長させてくれました。

幼い頃からの夢は「水泳選手になること」でした。しかし、高校に入ってからは思うような結果が出ず、自分が掲げた目標に届かないもどかしさと悔しさを何度も味わいました。「このタイムでは夢は叶わないかもしれない」と、深い絶望感に襲われた時間もありました。

そんな時、幼い頃から自分の成長をよく知り、熱心に指導してくださった和気ＳＣのコーチ、そして日頃の学校生活から親身に支え、いつも応援してくれた高校の先生方のおかげで、挫けずに最後まで頑張り抜くことができました。

自分が一番成長したと思うのは、毎日の練習後に振り返りを行い、次の練習へ活かす習慣がついたことです。その地道な積み重ねが実を結び、高校最後の中国高校選手権大会ではベストタイムを更新することができました。

タイムが縮まっていく中で、私は大切なことに気づきました。水泳とは誰かとの競争ではなく「自分との勝負」であり、自らの記録を塗り替えていくこと、鍛えた実力を精いっぱい発揮することこそが一番の楽しみなのだということです。インターハイの夢は叶いませんでしたが、この本質に気づけたことは私の財産です。

これまで支えてくださったすべての方々への感謝の気持ちを忘れず、これまでの水泳生活で学んだ「自分に挑み続ける大切さ」を胸に、大学でもさらに努力を重ねて、より速く泳げるよう挑戦を続けていきたいです。

（和気閑谷高校普通科
３年　井上翔太）





31年ぶり 秋　　21年ぶり 春　　野球部 県大会出場

私たち軟式野球部の目指すチーム像は「地域から愛されるチーム」です。そして、チーム目標は夏に行われる「第108回選手権岡山大会ベスト８」に入ることでした。その実現のために、チームスローガンである「感謝」・「純粋」・「謙虚」の気持ちを忘れず持ち続け、野球にも学校生活にも全力で取り組みました。令和７年８月終わりから、秋季県大会の予選が始まりました。リーグ戦を勝ち上がり、31年遠ざかっていた秋季県大会の出場を決めました。いつもお世話になっている地域の方、保護者、学校の先生方、多くの方々と県大会出場の喜びを分かち合うことができ、日々の努力が報われた瞬間でした。残念ながら、１回戦で倉敷青陵高校に１対０で負けてしまいました。その悔しさを忘れず、必ず春季県大会にも出場することをチーム目標として、オフシーズンにはバッティング練習に力を入れて取り組みました。そして、迎えた春季県大会予選では、岡山南高校を相手に18対４で勝利し、21年ぶりに春の県大会への切符を手にすることができました。残念ながら、１回戦でおかやま山陽高校に10対０で負けてしまいました。しかし、秋・春と続けて県大会に出場できたことは硬式野球部の新たな歴史を作れたのではないかと思います。そして迎えた夏の第108回選手権岡山大会は、１回戦で岡山商科大学附属高校と対戦し、５対０で負けてしまいました。悔しい結果でしたが、力を出し切ることができた試合でした。毎日、大好きな野球ができることに感謝をし、野球を通してお世話になった学校の先生方や保護者、応援してくださる地域の方々に喜びや勇気を届けられるようなチームをこれからも目指していきます。





編集後記

酷暑日の報道がされた厳しい夏も去り、少しずつ秋の気配を感じられるようになりました。会員の皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年度は、生徒会が中心となり校則の検討・変更、学校行事の企画など生徒が活躍する新たな流れが生み出た年になり「挑戦、やり抜く、協働、態」をスローガンに取り組んでいます。２学期は３年生にとって進路実現の大切な時期であり、10月３日（土）には閑谷祭文化の部が、５日（月）に体育の部が開催されます。文化の部は一般公開されますので、会員の皆様も御来校くだされればと願っています。２年生の修学旅行も実施され、楽しい学校行事が待っています。さまざまな体験を通して、大きく成長してほしいと願っています。

最後に、創学360年に向けた準備も始まりました。地域の方々や卒業生のお力添えをいただきながら、生徒たちが充実した学校生活を送れるよう今後ともご支援を頂けるよう、よろしくお願いいたします。　（和氣　記）